



発行所 © 城南新報
〒611-0021 宇治市宇治里尻
TEL (0774)24-1221
FAX (0774)22-5754
E-mail jshinpou@ybb.ne.jp

宇治の9団体 宇治川増水の観光打撃訴え

「弾力的な放流基準を」に要望 国交相

民主党 府連 15日に意見交流会

琵琶湖の水位を低下させるための天ヶ瀬ダム放流、これが宇治川増水、観光面への打撃につながることを訴え、宇治市観光協会(山本哲治会長)など9団体が先月下旬、連名で前原誠司国交大臣宛てに要望書を提出していたことが11日までに分かった。弾力的な放流基準等について国交省関係者との協議の場を求めたもので、この種の要望は初めて。これを受け、民主党府連は15日(日)に市観光協会と意見交流会を開くことを決め、衆院京都2区選出の前原大臣の参加も決まった。

夏の宇治観光の風物詩である宇治川の鴨飼。今年6月12日のシーズン開幕以来増水による営業見合わせが相次ぎ、連続8日間を含め合計14日間、中止となつて

いる。快晴でも増水のため中止を余儀なくされているケースもあり、客からも不満の声が出る。琵琶湖の水位管理は瀬田川洗堰操作規則(92

年3月)で、非洪水期10月15日く6月15日は基準水位プラス30センチ以下を維持し、洪水期(6月16日く10月14日)は琵琶湖の水位をあらかじめ基準水位のマイナス20

センチか30センチ下げておくことが定められている。しかし、放流により宇治橋付近の流量が毎秒400トに達すると、塔の島などがある府立宇治公園の立ち入りが禁

止される。平等院と宇治上神社という2つの世界遺産を直線で結ぶ宇治公園は年間70万人が訪れるだけに、立ち入り禁止は宇治の周遊観光にとつて打撃。周辺の料理店や観光関係の商店の売り上げにも直結してくる。

毎年のように続く事態を踏まえ、市観光協会をはじめ、宇治川漁業協同組合、宇治観光旅館組合、宇治観光土産品組合、宇治橋通商店街振興組合、平等院表参道商店会、源氏タウン銘店会、宇治観光塔の島会、(旬)宇治川観光通船は連名で前原大臣宛ての要望書

を先月下旬に提出。流量の著しい変更には苦慮している。観光振興を念頭に置いた弾力的な放流基準等について宇治川流域観光関係者並びに従事者と国交省関係者と積極的な協議とご回答をいたしたる場を設けてと求めた。

このような流れを踏まえ、民主党府連主催の意見交流会が15日、前原国交相も参加して開かれることが決まり、「観光戦略からみる淀川水系の治水利水環境保全」についてをテーマに話し合う。市観光協会では「400トを2日間放流したり、放流を止める1時間前に連絡してきたりする。上流、下流のことだけでなく、中流にある宇治観光のことも考えて放流してほしい」と話しており、1日中止の影響額などを示して直談判で窮状を訴える。